

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
分担研究報告書

日本公衆衛生学会における自由集会
「口腔保健推進における多職種連携 ～その先駆的取り組み～」の開催

研究代表者：安藤雄一（国立保健医療科学院・生涯健康研究部）
研究協力者：深井穫博（日本歯科医師会・地域保健委員会）
研究協力者：石濱信之（三重県伊勢保健福祉事務所保健衛生室地域保健課）
研究協力者：佐藤眞一（千葉県衛生研究所）

A. 目的

本研究班で取り組んだ内容の啓発・普及を図る一環として 2011 年 10 月に秋田市で行われた日本公衆衛生学会にて「口腔保健推進における多職種連携 ～その先駆的取り組み～」と題する自由集会を行った。

B. 進行

日 時： 2011 年 10 月 20 日（木）18:30 ～ 20:30
会 場： 於秋田県総合保健センター
世話人： 米満正美（代表世話人：岩手医科大学歯学部、日本口腔衛生学会）
花田信弘（鶴見大学歯学部）
安藤雄一（国立保健医療科学院）
進 行： （次頁参照）

C. 結果と考察

自由集会の参加者は約 50 であった。集会では 5 名の地域保健実践者から事例報告が行われ、このうち 2 つが当研究班で取り組んでいる内容（早食いに関する保健指導、歯周疾患検診と特定健診の連携）で、2 つが当研究班と関連性の高いもの（成人歯科健診事業、食育事業）であり、残る 1 つは研究班で取り組んでいる内容とは直接関連のないもの（フッ化物洗口の普及）であった。しかしながら、「口腔保健推進のための多職種連携」という面では各事業に共通性が高く、有益な討論を行うことができた。

趣旨説明と事例報告の詳細は、次々頁以降を参照されたい。

D. 研究発表

なし

E. 知的財産権の出願・登録状況

なし

F. 引用文献

なし

日本公衆衛生学会・自由集会

「口腔保健推進における多職種連携 ～その先駆的取り組み～」

開催要領

●日程・会場

日程： 2011 年 10 月 20 日（木）18:30 ～ 20:30

会場： 秋田県総合保健センター（2 F：第 1 研修室…収容人数 50 名程度）

<http://jsph70.umin.jp/access.html>

●次第

進行役：安藤雄一（国立保健医療科学院・生涯健康研究部）

・開会挨拶

米満正美（岩手医大教授、前日本口腔衛生学会理事長）

・主旨説明

深井穫博（日本歯科医師会地域保健委員長）

・事例報告

城田圭子（保健師、三重県菰野町）：

特定健診に歯科および早食い対策を導入して（仮題）

高澤みどり（歯科衛生士、千葉縣市原市）：

歯科からみた特定健診の「壁」（仮題）

佐々木健（歯科医師、北海道保健福祉部健康安全局）：

新しい成人歯科健診事業の普及における職種間連携（仮題）

中嶋千晶（管理栄養士、東京都足立区）：

栄養と歯科と連携した食育事業（仮題）

松野 才（歯科医師、秋田県歯科医師会理事）：

フッ化物洗口普及における多職種連携（仮題）

・全体協議

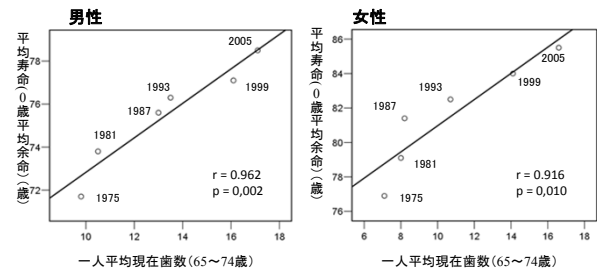
日本公衆衛生学会自由集会
2011.10.20, 18:30-20:30, 秋田県総合保健センター

口腔保健推進における多職種連携 —その先駆的取組—

開催主旨

深井 穫博
日本歯科医師会地域保健委員長

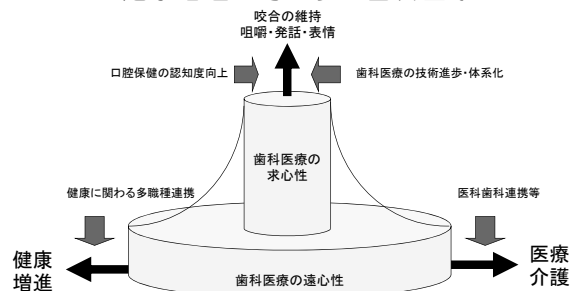
歯数の増加と寿命の延伸との関係



厚生労働省歯科疾患実態調査および生命表を基に、1975年から2005年までの両者の推移をプロットすると、相関係数が男性0.96、女性0.92という強い相関がみられた。これまでの宮古島における歯数と生命予後との関連の調査結果から考えると、日本人の平均寿命の延びに歯数の増加が寄与している可能性があることは少なくとも否定できない。

Fukai K et al, Geriatr Gerontol Int 2010; 10: 275-276

地域歯科医療の再生と 健康増進に寄与する歯科医療



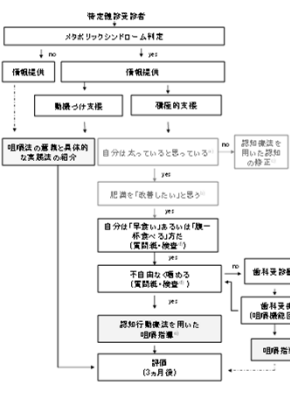
深井 穫博: 8020達成型社会における歯科保健医療の近未来. 歯界展望. 112(5), 913-919, 2008 著者一部改題

個人の特性に合わせた 保健指導のためのアセスメント

「歯の健康力」 判定結果	具体的課題 (口腔保健質問紙調査票の質問に回答)						
困りごと QOL	歯や口の状態で 気になることがある	噛み具合	外観	発話	口臭	痛み	その他
自覚症状 口腔内状態	奥歯の噛みしめ	歯みがき時の出血	歯ぐきのブヨブヨ	歯にしみる	歯の本数		
保健行動	間食 たばこ	就寝前の 歯磨き	フッ素 入りの 歯磨き 剤	歯間ブラシ ・フロス	ゆっくり 噛む	歯磨き 指導	定期健診
環境	かかりつけ歯科医あり	歯科医院へ通院	病気の 治療	周囲の 人々の 関心	自信を 持てる 歯	職場や 外出先 の 歯磨き	

■：問題あり ■：やや課題あり □：問題なし

(日本歯科医師会標準の成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル, 2009) 4



口腔機能に応じた咀嚼指導のフローチャート(案)

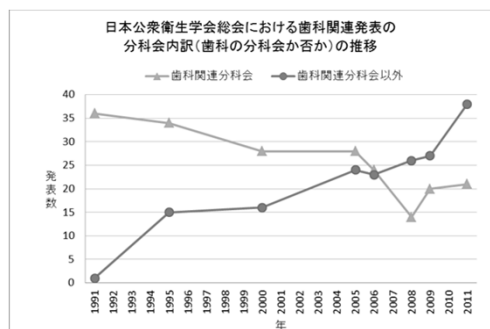
厚生労働科学研究 口腔機能に応じた
保健指導と肥満抑制やメタボリックシンドローム改善との関係についての研究
平成21年度総括・分報報告書(H21-歯
理器等(生管一〇一〇12)(主任研究
者安藤雄一), 2010年5月

今回の公衆衛生学会における歯科関連の 59発表の分科会別内訳

第11分科会	口腔保健	21	(36%)
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	8	
第5分科会	親子保健・学校保健	6	
第3分科会	生活習慣病・メタボ	5	
第7分科会	高齢者の医療と福祉	5	
第14分科会	医療制度・医療政策	3	
第17分科会	公衆栄養	3	
第8分科会	地域社会と健康	3	
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	1	
第1分科会	疫学・保健医療情報	1	
第22分科会	国際保健	1	
第2分科会	ヘルスプロモーション	1	
第4分科会	保健行動・健康教育	1	
		38	(64%)

安藤雄一先生提供スライド

歯科関連の発表は、 歯科の分科会以外で増加中



安藤雄一先生提供スライド

(基本理念)

第二条

歯科口腔保健の推進に関する施策は、次に掲げる事項を基本として行われなければならない。

- 一 国民が、生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることを促進すること。
- 二 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯科口腔保健を推進すること。
- 三 保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的に歯科口腔保健を推進すること。

歯科口腔保健の推進に関する法律、2011年8月10日公布・施行

特定保健指導に 歯科及び早食い対策を 取り入れて

三重県菰野町役場 保健師 城田圭子

平成23年10月20日 日本公衆衛生学会・自由集会

保健指導対象外となった方

動機付け対象者のうち4割は除外

〈理由〉

既に内服中	37.9%
75歳該当	19.7%
BMI 22未満	12.1%
BMI 22～23	19.7%
その他	10.6%

60歳以上 腹囲で対象
脂質検査の値が低い
筋力低下のみか？
低栄養状態はないか？
咀嚼状態は？

三重県菰野町



(平成23年1月1日現在)

人口	41040人
年間出生数	約350人
高齢化率	21.4%
後期高齢化率	47%
(65歳以上高齢者に占める75歳以上割合)	
持ち家率	84%

(H17年 国勢調査より)

国保被保険者	9225人
行政面積	約107km ²

四日市市に隣接 同市街地まで10Km
名古屋市中心街には40Kmに位置する

歯科教室を取り入れた理由

1. プレ特定保健指導実施から感じたこと
 - 動機付けが重要 繰り返し動機付けの機会が必要
 - 成功者は運動・食事ともに取り組んだ方
 - 特徴的な食事(食事記録・写真 卵うどん パナナ)
 - 口から見える生活と健康状況
 - 保健指導の成果(減量と思わぬ結果)
 - 効果が出やすく達成感と継続の必要性を実感できる
2. 特定保健健診の分析から
 - 腹囲が基準値を超えている人は、基準範囲内に比べ食べる速度が速い。食習慣の情報提供が必要

特定健診受診率(H20年度)

年齢	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	全体に占める割合(%)
40～49	761	85	11.2	4.1
50～59	1009	218	21.6	10.6
60～64	1275	379	29.7	18.4
65～74	3263	1380	42.3	66.9
	6308	2062	32.7	100

H21年度 35.9% H22年度 40%見込み (割合はH20年度と変わりなし)

特定保健指導対象者

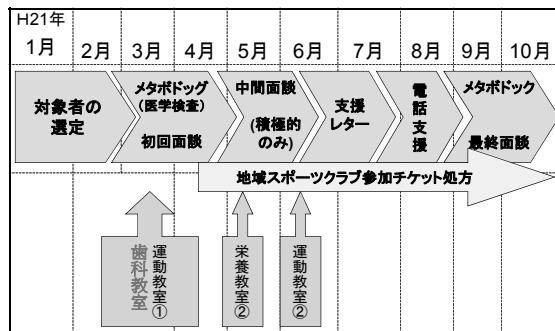
	H20年度	H21年度
保健指導対象者	296人	303人
動機付け	231人 (20人)	247人 (18人)
積極的	65人 (3人)	56人 (4人)

注()内は
利用者人数

歯科教室を取り入れた理由

2. 医療情報・関係機関との連携
 - 国保診療情報疾病分類費用額(H20. 5入院外)
 - 第1位 高血圧性疾患
 - 第2位 歯肉炎及び歯周疾患
 - ↓
 - 糖尿病とほぼ同額
- 歯科医師会・歯科衛生士会との情報交換
 - 診察室からみる現状

保健指導プログラム



歯科保健教室



【内 容】

- ・歯科医師による講話
- ・歯科検診
- ・衛生士によるブラッシング指導
- ・位相差顕微鏡検査による口腔内細菌の観察
- ・咬合ガムによる咬合力の測定

- 咀嚼状況を踏まえた栄養指導が可能である。
- うまく噛めていない人は食事に偏りがみられた。
- 咬合ガム 十分に噛めていない人が多い
- 噛む事を意識して食事をするにつなげた。

メタボドック

教室開始前と最終評価時の2回実施



【町内医療機関で実施】

- ・身体測定、血圧
- ・血液検査、心電図
- ・腹部CT(内臓脂肪測定)
- ・診察

- CT画像は、客観的に自己の状態を振り返ることができる。
- 医師からの説明や指導は、対象者に与える影響が大きい。

歯科教室の結果

保健指導参加者23人中19人参加 平均年齢 67歳

平均	現在歯数	21.5本		7本	60代	1人
	24本未満	8人	4割	9本	60代	1人
	12本未満	4人	2割	11本	70代	2人

臼歯の欠損が多く 噛めていない人が多い
6人(3割)

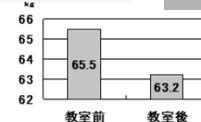
↓
歯科医院への受診勧奨

歯科教室の目的

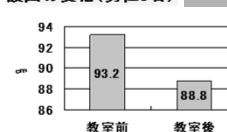
- 1.しっかり噛んで美味しく食べることにより、満腹感を得ることや、自分の健康状態に応じた食事をとることが出来るように必要な支援を行う。
- 2.歯や口腔内の健康を意識することにより、日頃の食事や生活改善の動機付けの場とする。
- 3.参加者の交流をとおして互いに応援出来る関係づくりを目指す。

保健指導の結果

体重の変化(平均) -2.3kg

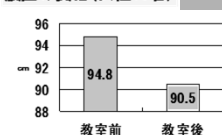


腹囲の変化(男性8名) -4.4cm



・教室修了者 18名
(積極的支援 3名、
動機付け支援 15名)

腹囲の変化(女性10名) -4.3cm



課題と今後の展望

- メタボリックシンドローム該当者及び予備軍対象者には咀嚼に関する課題を持つ方が多くいるのではないか。
- やせすぎず、適正な体重と筋力を維持出来るように、受診者・保健指導対象者の分析を行うと共に、咀嚼カレンダーを活用をし噛むことを含め対象者に応じたプログラムを検討する必要がある。

他職種連携に際し必要と感じたこと

- 「業務協力」だけではなく、それぞれの職種が持つ技や特徴を良く知ることが必要。
- 感じたことやキャッチ可能な情報を共有する機会を持ち情報交換と提案を行う。

思考や見方の幅が広がる
つながれば可能性は無限大



「歯周疾患検診」と 「特定健康診査」との壁… その打開策は？

市原市保健センター 高澤 みどり



平成23年10月20日（木）
第70回日本公衆衛生学会 in 秋田
自由集會

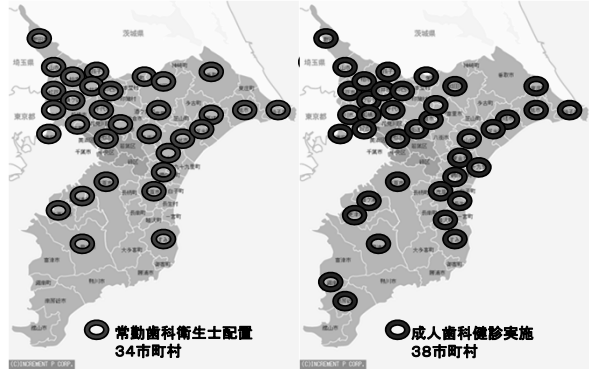


千葉県
市町村
歯科衛生士
(常勤)
34市町村
80人

54
市町村への
配置率
63%

○ 常勤歯科衛生士配置市町村
平成23年度千葉県の市町村歯科衛生士の配置状況について（平成23年4月）千葉県健康福祉部

常勤歯科衛生士配置市町村および成人歯科健診実施市町村 (平成22年度市町村歯科保健事業実施状況・平成23年6月千葉県健康福祉部)



○ 常勤歯科衛生士配置
34市町村

○ 成人歯科健診実施
38市町村

成人歯科健診実施市町村①(平成22年度)					
市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
1	○	個別	妊婦・40歳以上節目	462	
2	○	個別	40歳以上	2,395	
3	○	個別	40歳以上節目	306	
4	○	個別	30歳以上節目	3,028	
5	○	個別	40歳以上	1,043	
6	○	個別	20歳以上	2,422	
7	○	個別	20・30・40歳以上	324	
8	○	個別	30～80歳	346	
9	○	個別	40歳以上節目	619	
10	○	個別	40歳以上	361	
11	○	個別	30歳以上	701	
12	○	個別	40歳以上	257	
13	○	個別	40歳以上節目	89	

成人歯科健診実施市町村②(平成22年度)					
市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
14	○	個別	40歳以上節目	130	
15	×	個別	40歳以上	87	
16	○	個別	30歳以上節目	6	
17	×	集団	40歳以上	20	
18	○	集団	40歳以上節目	15	
19	○	個別	40歳以上節目	74	
20	○	集団	18歳以上	704	一部同時開催
21	○	集団	20歳以上	121	
22	○	集団	18歳以上	190	一部同時開催
23	○	集団	40歳以上節目	62	
24	×	集団	40歳以上	720	同時開催
25	○	集団	一般住民	76	
26	○	集団	40歳以上節目	110	

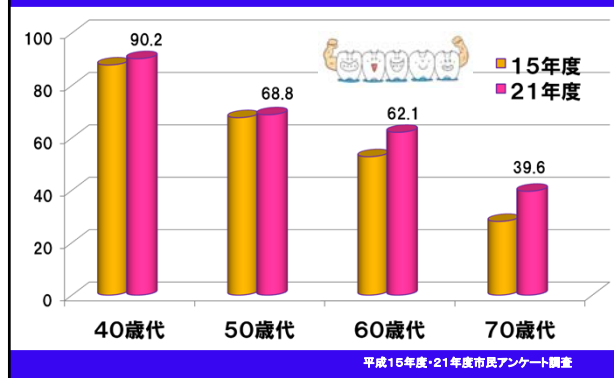
成人歯科健診実施市町村③(平成22年度)					
市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
27	×	集団	40歳以上節目	14	
28	×	集団	40歳以上	88	
29	○	個別	40歳以上節目	15	
30	×	個別	40歳以上節目	93	
31	×	個別	40歳以上節目	20	
32	○	個別	40歳以上節目	437	
33	○	個別	40歳以上節目	369	
34	○	個別	30歳以上節目	293	
35	○	個別	20歳以上	132	
36	○	個別	40歳以上節目	2,899	
37	○	個別	40歳以上節目	2,461	
38	○	個別	20歳以上節目	745	
計				22,234	

県内の状況（16市町村にインタビュー）の抜粋				
市町村	歯周疾患検診	特定健診とのかわり		特定保健指導とのかわり
A	集団検診で実施	特定健診と一部同時開催	特定健診が始まる前から同時開催していた 特定健診終了後に希望者は歯科健診受診	特になし
B	集団検診で実施 （大学病院の歯科医師に委託）	特定健診と同時開催 （すべての日程が同時開催）	住民健診の頃から歯科健診と同時開催していた 特定健診の途中に希望者は歯科健診受診	特になし
C	集団検診で実施	特定健診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診と同時開催		特になし
D	集団検診で実施	骨量検診と同時開催		積極的支援の教室で歯周病とメタボの関係を担当
E	個別検診で実施			動機付け及び積極的支援対象者向けの教室で歯科の講話
F	個別検診で実施	特になし		特になし

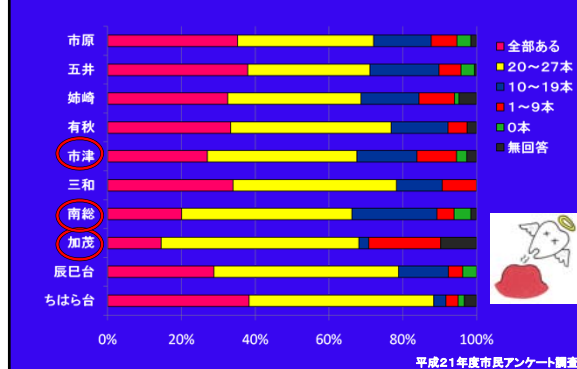
市原市の成人歯科健診

- 歯科無料健診としてスタート：昭和58年度
（対象：幼児から成人 集団健診 無料）
- 成人歯科健診：平成元年度
（対象：40歳以上 集団健診 無料）
- CPITN導入：平成元年度～
- 歯っぴいママ健診開始：平成12年度～
（対象：妊産婦 集団健診 無料）
- 歯周疾患検診開始：平成17年度～
（対象：40歳以上 個別健診 500円）
- 口腔がん検診開始：平成17年度～
（対象：40歳以上 集団健診 無料）
- 歯と歯ぐきのスマイル健診に名称変更：平成21年度
（対象：20歳以上 個別健診 500円）

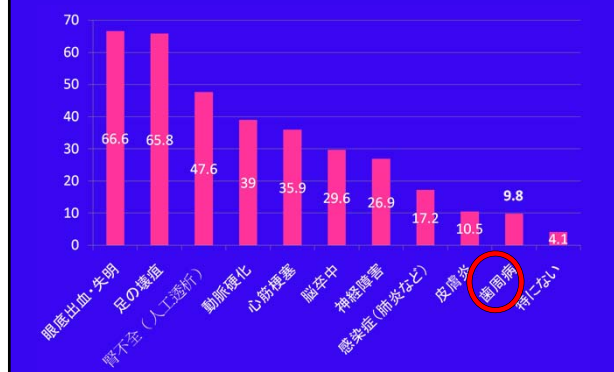
自分の歯の本数（質問紙法）年齢別



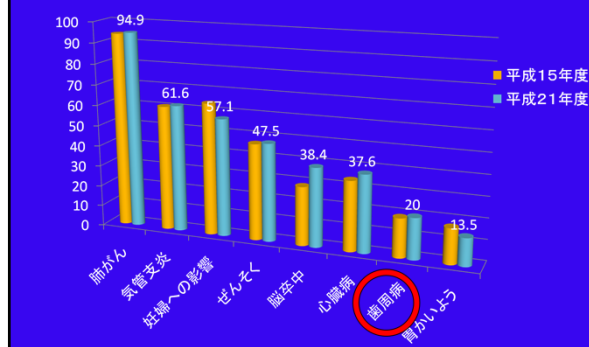
自分の歯の本数（質問紙法）地区別



糖尿病の合併症で知っているもの



たばこを吸うとかかりやすくなると思う病気



歯周疾患健診説明研修会

対象：歯周疾患健診受託歯科医院の
歯科医師・歯科衛生士等



平成19年度
日本歯科医師会
深井穂博先生
『働く人々の保健
行動』

『新しい成人歯科健診・保健指導 に関する勉強会』

日時：平成22年8月26日(木)午後4時～

対象：歯科医師会三役・担当理事
市歯科衛生士・担当GL



講師：日本歯科医師会地域歯科保健委員会
委員長 深井穂博先生

・標準的な成人歯科保健プログラム・保健
指導マニュアルについて
・今後の展望について



千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例

- ・第1条 目的
- ・第2条 基本理念
- ・第3条 県の責務
- ・第4条 市町村との連携協力等
- ・第5条 歯科医師等の責務
- ・第6条 教育関係者及び保健医療福祉関係者の役割
- ・第7条 事業者及び保険者の役割
- ・第8条 県民の役割
- ・第9条 千葉県歯・口腔(く)保健計画の策定
- ・第10条 基本的施策の推進
- ・第11条 財政上の措置
- ・第12条 県民の歯科疾患等実態調査の実施
- ・附 則 (施行期日、千葉県行政組織条例の一部改正)



22年4月1日施行

市町村歯科健康診査(検診)実績報告

目的

市町村における歯科保健の状況を把握し、千葉県歯・口腔保健計画の目標の評価等の「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」の推進のために必要な基礎資料を得ることを目的とする。

対象および内容

県内の市町村を対象に、毎年4月1日～翌年3月31日まで実施した幼児・成人を対象とした歯科健診におけるむし歯、歯周疾患等の状況を報告する。

集計および公表

調査結果の集計並びに解析は県が行い、集計完了後すみやかに結果を公表する。

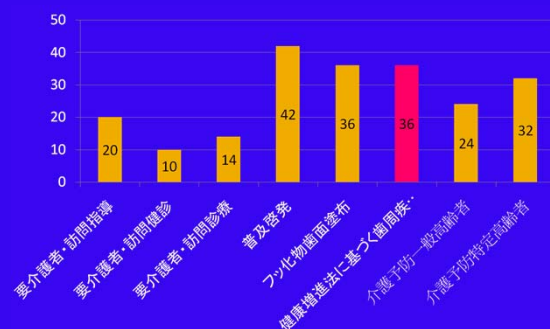
条例推進のための基礎資料

平成22年度市町村歯科健診(検診) 実績報告

- ・1歳6か月児歯科健康診査
- ・2歳児歯科健康診査
- ・3歳児歯科健康診査
- ・保育所歯科健康診査
- ・妊婦歯科健康診査
- ・成人歯科健康診査(歯周疾患検診)
- むし歯・歯周疾患等の状況(保健行動含む)

「健康ちば21」の指標等
幼児：F歯面塗布・
間食・しあげ
みがき
成人：歯間部清掃・
定期的な歯
石除去・定期
的な歯科健
診・歯肉の観察

平成21年度市町村歯科保健事業実 施状況(千葉県健康福祉部まとめ)



(社)日本歯科衛生士会 認定歯科衛生士制度

認定歯科衛生士とは

認定歯科衛生士とは、特定する専門分野において高度な業務実践の知識・技術を有すると認められた歯科衛生士です。

本会の生涯研修制度における認定研修を修了した会員および本会が指定・委託する専門学会等から推薦された会員が、認定歯科衛生士審査会に合格し、認定歯科衛生士名簿に登録されると認定証が交付されます。

認定分野Aとは

本会の生涯研修制度における研修履歴に基づき、受講者基準を満たすと認定研修の受講資格者となります。認定研修を修了後、認定歯科衛生士審査会を経て次の分野において認定します。

- 生活習慣病予防(特定保健指導)
- 在宅療養指導(口腔機能管理)
- 摂食・嚥下リハビリテーション

地域歯科保健活動実施状況調査報告
(日本歯科衛生士会:平成21年度)

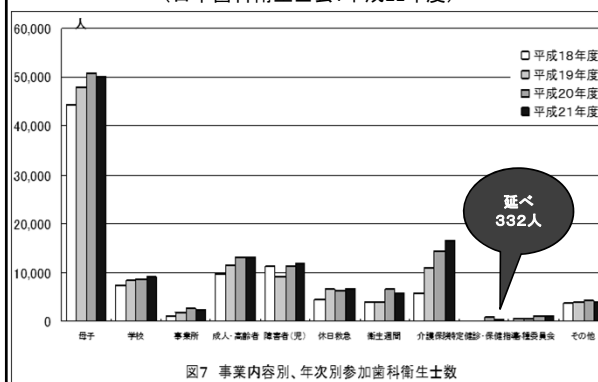


図7 事業内容別、年次別参加歯科衛生士数



**WIN-WIN
が
きっとあるはず！**



新しい成人歯科健診事業の普及 における職種間連携

北海道保健福祉部健康安全局

佐々木 健

1

・セッティング(場)

日本歯科医師会が作成した「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」に準拠した新しい成人歯科健診プログラムを職域において試行的に実施

・連携をとった職種

歯科衛生士と産業保健師

・連携した場面

- (1)新しい成人歯科健診プログラムの試行的実施を受け入れる企業を探す。
- (2)新しい成人歯科健診プログラムにおける保健指導のレビュー。

背 景

- ・北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例
- ・「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」(日本歯科医師会)の誕生

北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例

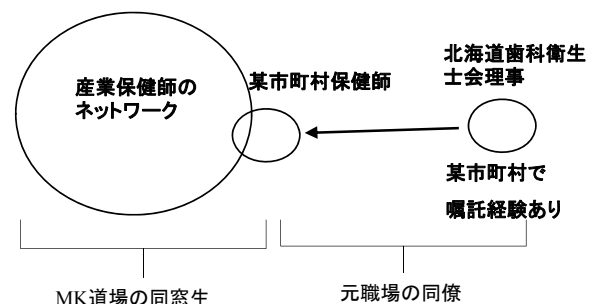
(事業者及び保険者の役割)

- ・第6条 事業者は、基本理念にのっとり、道内の事業所で雇用する従業員の歯科 健診、保健指導の機会の確保その他の歯・口腔の健康づくりを推進するよう努めるものとする。
- ・2 保険者は、基本理念にのっとり、道内の被保険者の歯科健診、保健指導の機会の確保その他の歯・口腔の健康づくりを推進するよう努めるものとする。

・連携した場面

- (1)新しい成人歯科健診プログラムの試行的実施を受け入れる企業を探す。
- (2)新しい成人歯科健診プログラムにおける保健指導のレビュー。

リクルートの基本は口コミ！



◎お口の健康を守るためのあなたの選んだ目標
(2～3つ選びチャレンジしましょう。)

- ①職場でも食後の歯磨きをおこなう。
- ②寝る前は、必ず歯を磨く。
- ③飲料水は、無糖か微糖を選んで飲む。
- ④間食の回数を減らす。(____日____回)
- ⑤禁煙を開始する。(____頃から)
- ⑥フッ素入りの歯磨剤を使ってブラッシングを行う。
- ⑦歯間ブラシやフロス(糸ようじ)を使用する。(週____回)
- ⑧よく噛んで食事をする。
- ⑨自由作成()

歯・口腔の自覚症状

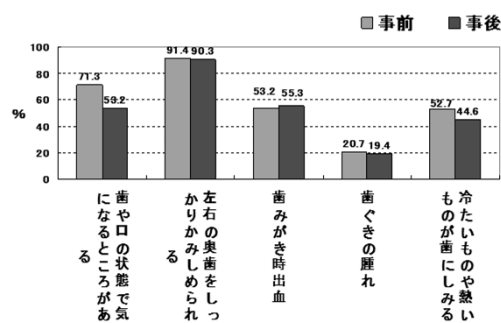


図 1日の歯みがき回数

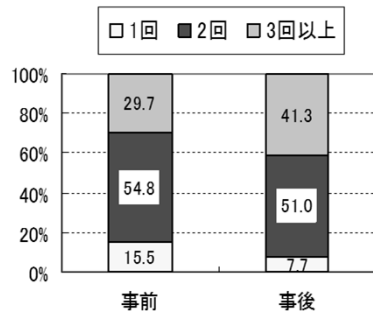


図 歯間ブラシ・フロスの使用頻度

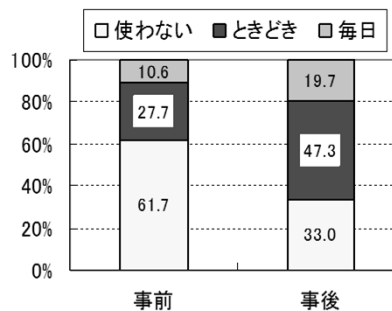
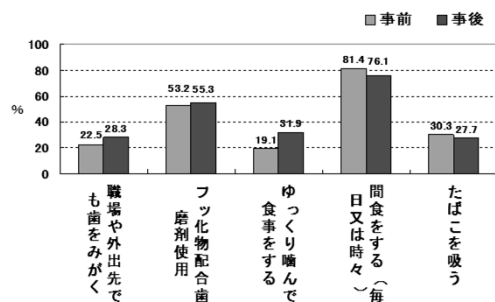


図 口腔清掃行動／食行動／喫煙



・連携した場面

(1)新しい成人歯科健診プログラムの試行的実施を受け入れる企業を探す。

(2)新しい成人歯科健診プログラムにおける保健指導のレビュー。

保健指導のKey Point

- ・ 問診票の回答を参考にポジティブなメッセージから指導をスタートさせる
- ・ 上から目線ではない双方向のコミュニケーション(相互作用)
- ・ 行動目標の自己選択への誘導
- ・ 2回の面接で1セッション

保健指導における約束ごと

- ・ 問診票の回答を参考にポジティブなメッセージから指導をスタートさせる
- ・ 指導者が話す時間より、相手の方が話す時間の方が長くなるように展開する
- ・ 伝えようとすることは、1～2つに絞り込む

わたくしが考える他職種との連携のKey Point

- ・ 相手に歯科保健医療の理解を求める前に、他職種とわかりあえる共通項をつくる。
 - (ex) 保健師 — 公衆衛生・ヘルスプロモーション
 - 保健指導従事者 — 行動科学／健康行動理論
 - 教育関係者 — ライフスキル(教育) エンカウンター
 - 介護・医療関係者 — 認知症医療&ケア
- ・ 他職種が利用してメリットとなる人的リソースのネットワークを持つ

日本公衆衛生学会・自由集会

栄養と歯科が連携した食育事業



平成23年10月20日
足立保健所東和保健総合センター
管理栄養士 中嶋 千晶

足立区の紹介

東京都23区の北端



東京都の東北部に位置し
総面積53.20km²で23区総面積の約一割
大田区、世田谷区について特別区第3位の広さ

四方を川で囲まれ、水と緑豊かな足立

公園が多い

23区で1番

区立公園面積
200万平米



葛西用水親水水路

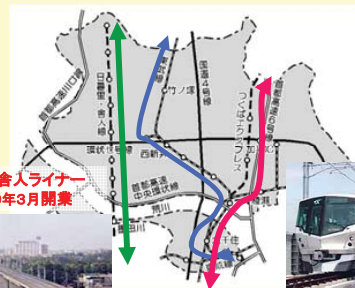


足立区の主な交通網

日暮里・舎人ライナー
平成20年3月開業

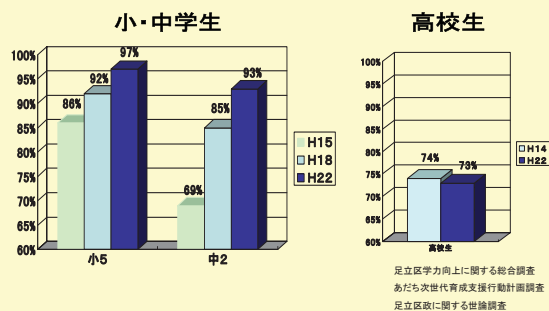


つくばエクスプレス
平成17年8月開業



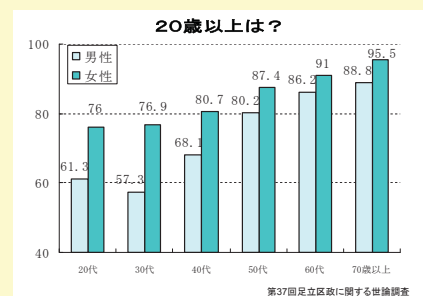
【食生活をめぐる現状】

1 朝食を毎日食べる割合(パート1)



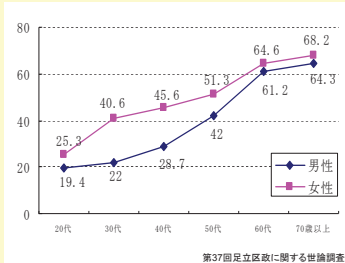
【食生活をめぐる現状】

1 朝食を毎日食べる割合(パート2)



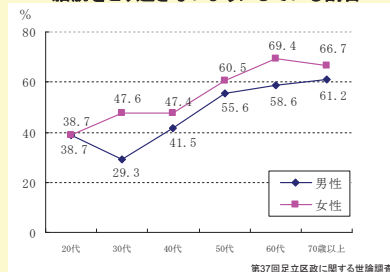
【食生活をめぐる現状】
2 栄養バランスの偏り(パート1)

塩分をとり過ぎないようにしている割合



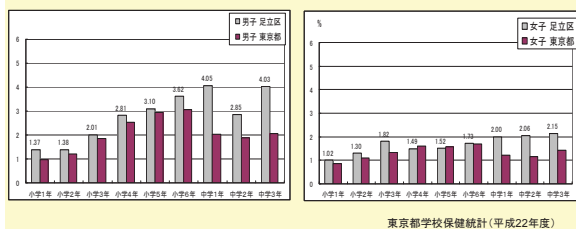
【食生活をめぐる現状】
2 栄養バランスの偏り(パート2)

脂肪をとり過ぎないようにしている割合



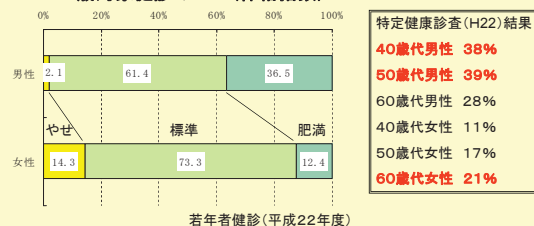
【食生活をめぐる現状】
3 子どもの頃からの肥満と痩身(パート1)

肥満傾向者の割合(小・中学生)



【食生活をめぐる現状】
3 子どもの頃からの肥満と痩身(パート2)

35歳対象健診のBMI(体格指数)

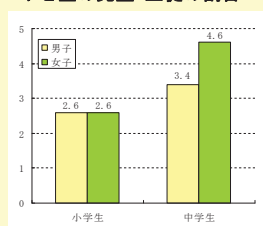


特定健康診査(H22)結果

40歳代男性	38%
50歳代男性	39%
60歳代男性	28%
40歳代女性	11%
50歳代女性	17%
60歳代女性	21%

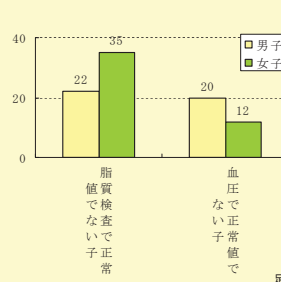
【食生活をめぐる現状】
3 子どもの頃からの肥満と痩身(パート3)

やせ型の児童・生徒の割合

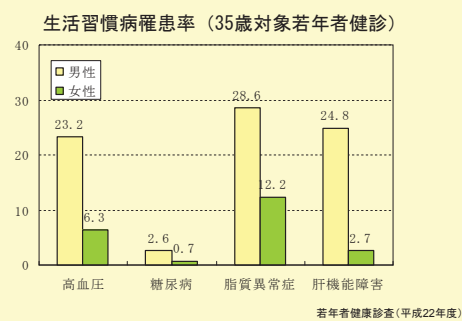


【食生活をめぐる現状】
4 若い世代からの生活習慣病の増加(パート1)

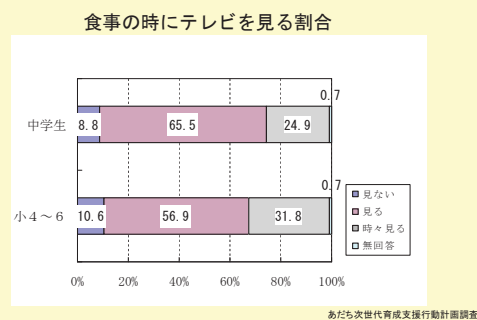
中学2年生対象健診結果



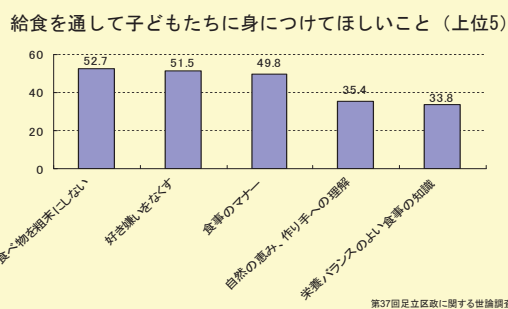
【食生活をめぐる現状】
4 若い世代からの生活習慣病の増加(パート2)



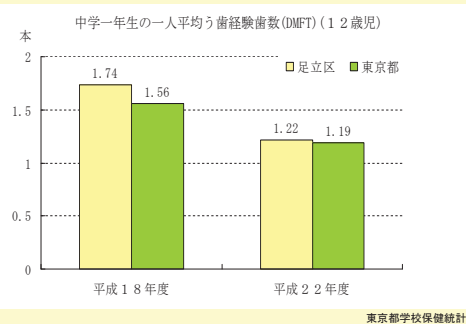
【食生活をめぐる現状】
5 家庭での食育機能の低下(パート1)



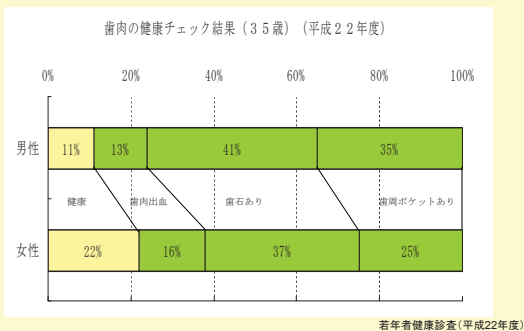
【食生活をめぐる現状】
5 家庭での食育機能の低下(パート2)



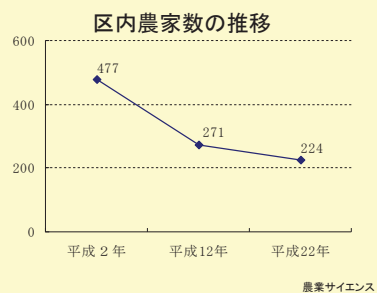
【食生活をめぐる現状】
6 むし歯や歯周病の多さ(パート1)



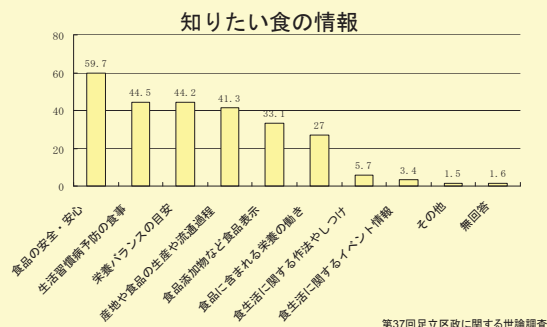
【食生活をめぐる現状】
6 むし歯や歯周病の多さ(パート2)



【食生活をめぐる現状】
7 消費者と生産者等のつながりの希薄化



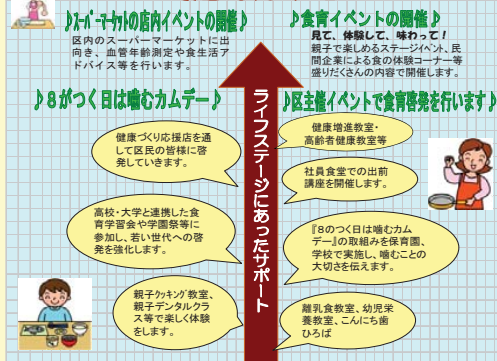
【食生活をめぐる現状】 8 食中毒の発生や残留農薬等への不安



1 課題解決に向けた4つの取り組み(案)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 朝食の欠食や生活リズムの乱れ | ◆生活リズムの改善と
朝ごはんの啓発 |
| 2 栄養バランスの偏り
3 子どもの頃からの肥満と痩身
4 若い世代からの生活習慣病の増加 | ◆ライフステージに応じた
食育の推進
～肥満と生活習慣病予防～ |
| 5 家庭での食育機能の低下
6 むし歯や歯周病の多さ | ◆よく噛みおいしく食べる
環境づくりの推進 |
| 7 消費者と生産者等とのつながりの希薄化
8 食中毒の発生や残留農薬等への不安 | ◆身近な場所での食育情報
発信と体験の推進 |

健康長寿



足立区食育活動の紹介 その1 足立区ホームページでの啓発



足立区食育活動の紹介 その2



歯と口から考えよう

かむカムノート



噛むカムおやつレシピ



足立区食育活動の紹介 その3

◆「8」のつく日、庁舎地下食堂で「噛むカムランチ」

噛み応えのある
メニューを提供



◆毎月19日に庁舎展望レストランで食育ランチ！

野菜たっぷり(150g)
食育ランチ



足立区食育活動の紹介 その4

全庁的な食育イベント

- ◆ 食育イベント
- ◆ 健康あだち21
フォーラム
- ◆ 歯と口から考える
食育イベント
- ◆ 関係者向け食育学習会



カムジー先生・早起きリズムコンサート
(平成21年度)



学校栄養職員紙芝居



噛むカムランチセミナーの様子



噛むカムランチ

足立区食育活動の紹介 その5

食生活コンダクターの調理体験教室

幼児、小学校、妊婦など



調理体験をとおして、
食に関心を持ってもらいます。



妊婦さんが食生活
を見直すきっかけに

足立区食育活動の紹介 その6

いい歯ね☆あだち（歯の健康を考える住民グループ）

学校やPTA連携し、主に小学校を対象に実施



噛み応えのあるあだち
ちっ子せんべい体験



食育クイズや口の中
の観察をとおして、
噛むことの大切さを
伝えています。

足立区食育活動の紹介 その7

学校保健委員がカムリーダーとして活躍(中学校)



大学の学園祭に高校生が出席



コンビニで昼ごはん、何を選びますか？(高校)



社員食堂にて啓発



足立区食育活動の紹介 その8

若年者健診(15歳対象)の結果日に啓発

サーキットトレーニングの運動



「みる・かむ・みがく」で
歯(けん)口(こう)習慣！



元気のパロメーター 血圧のこころを
う！



選んではかって何キロカロリー



足立区食育活動の紹介 その9

スマイル☆アップで口元美人

「スマイル☆アップ」は、笑顔の練習を通して、口元を美しく保ち、笑顔美人になるためのプログラムです。笑顔は心と体の健康に良い影響を与えます。

足立区食育活動の紹介 その10

いい歯の日☆2010美歯フェスタ

「いい歯の日☆2010 美歯フェスタ」は、歯の健康と笑顔の大切さを伝えるためのイベントです。歯の検診、歯のクリーニング、歯の相談などを行います。

行政と企業との連携 その1(食育フェスタ)

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

行政と企業との連携 その1-2(食育フェスタ)

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

行政と企業との連携 その2(舎人公園イベント)

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

「あだち食育フェスタ2010」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

行政と企業との連携 その3(区民まつり)

「オリジナル弁当」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

「オリジナル弁当」は、食育の大切さを伝えるためのイベントです。食育の体験コーナー、食育の相談コーナー、食育の相談コーナーなどを行います。

第70回日本公衆衛生学会・自由集会

平成23年10月20日

「口腔保健推進における他職種連携」
～その先駆的取り組み～

“フッ化物洗口普及における他職種連携”

社団法人秋田県歯科医師会
公衆衛生理事 松野 才

3歳児一人平均むし歯本数・都道府県別順位の推移

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1	東京	12	東京	12	東京	10	東京	09	東京	08	東京	07	東京
2	神奈川	13	神奈川	13	神奈川	11	神奈川	09	愛知	08	愛知	07	岐阜
3	大阪	14	愛知	14	愛知	12	神奈川	11	愛知	10	神奈川	08	神奈川
4	愛知	14	兵庫	14	兵庫	13	神奈川	12	愛知	11	兵庫	10	岐阜
5	埼玉	15	広島	15	神奈川	13	兵庫	12	広島	11	兵庫	10	神奈川
6	神奈川	15	神奈川	15	岐阜	13	岐阜	12	兵庫	11	岐阜	10	神奈川
7	兵庫	15	埼玉	15	広島	14	福井	13	岐阜	12	神奈川	10	広島
8	福岡	15	山口	15	福井	14	広島	13	福井	12	京都	12	京都
9	福井	16	福井	16	山口	15	山口	14	山口	13	京都	12	京都
10	広島	16	福岡	16	福岡	15	福岡	14	鳥取	13	大分	12	長野
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
40													
41													
42													
43													
44													
45													
46													
47													
48													
49													
50													

12歳児一人平均むし歯本数・都道府県別順位の推移

順位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1	新潟	1.0	新潟	0.9
2	広島	1.1	愛知	1.1
3	長野	1.2	広島	1.1
4	愛知	1.2	長野	1.2
5	東京	1.3	岐阜	1.2
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

資料：文部科学省「学校保健統計調査」

お口ブクブク大作戦事業(県事業)

- 1) 対象：幼稚園・保育所の5歳児
- 2) 期間：平成16年4月～平成19年3月(3年間)
- 3) 目標：100施設 2000名
- 4) 施策目標：
フッ化物洗口を実施している施設(幼稚園・保育所)の割合
最終目標：平成22年度末で40%→43.3%(平成22年12月31日現在)
- 5) 成果：
県内の幼稚園・保育所389施設中
103施設、2,145名がフッ化物洗口を実施(実施率26.5%)
一部市町村では、市町村事業として、小・中学校14校、2,433名が実施
- 6) 評価：
モデル事業終了後「フッ素洗口推進事業のまとめ」を発行

市町村等フッ化物洗口推進事業(平成19年度～)

3年間のモデル事業終了により、平成19年度からは、市町村事業としてフッ化物洗口事業を実施している。

秋田県では、市町村におけるフッ化物洗口事業の更なる拡大・定着を図るため、平成19年度から「市町村等フッ化物洗口推進事業」を実施し、市町村を支援している。

内容：1) 歯科衛生士による巡回歯科保健指導の実施
2) 市町村への県単補助金の交付

また、平成21年7月からは、国の「ふるさと雇用再生特別交付金」を活用し、秋田県が秋田県歯科医師会に委託して、雇用してもらった歯科衛生士4名により、「フッ化物洗口等歯科保健訪問指導事業」(平成23年度までを予定)を実施し、市町村等への支援を拡大している。

白井記念歯科保健功労賞(平成18年～)

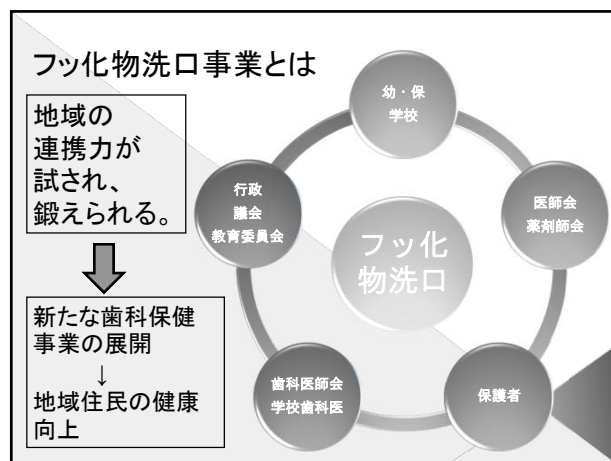
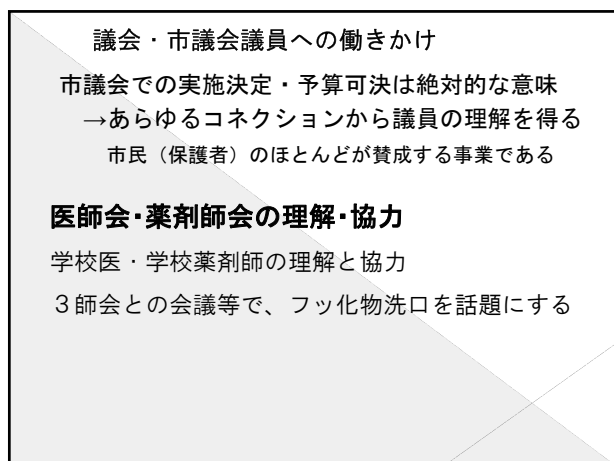
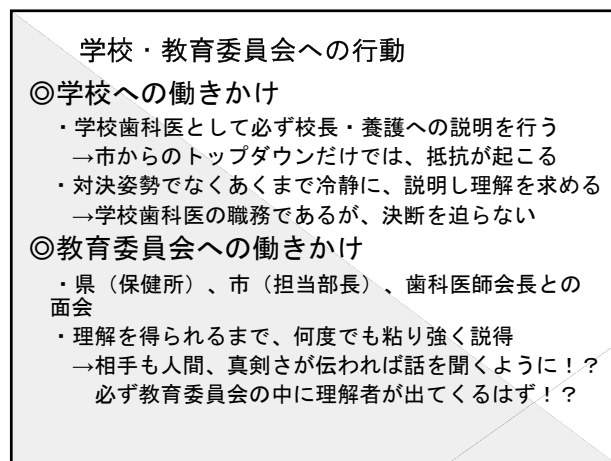
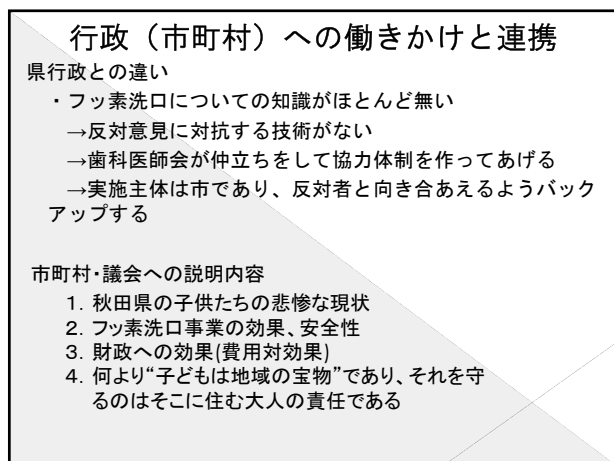
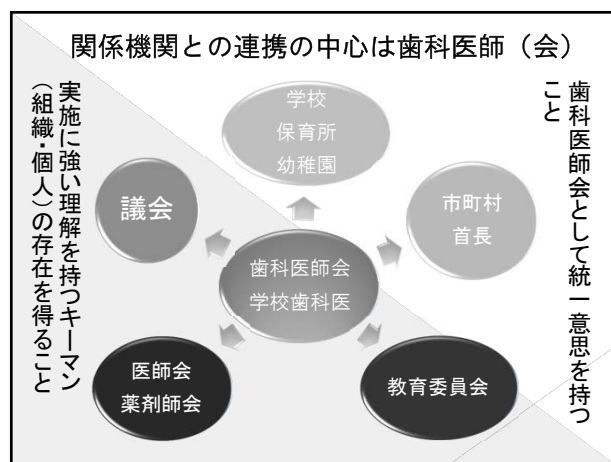
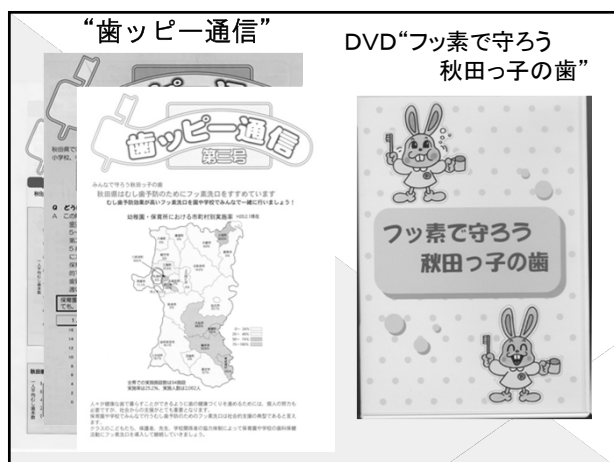
秋田県でのフッ化物洗口事業に先鞭をつけるも、平成17年羽越本線特急いなほ号脱線事故で急逝した故白井和弘氏の功績を称えるとともに、その遺志を継承し他の模範となる歯科保健活動を実施している団体・個人を表彰。

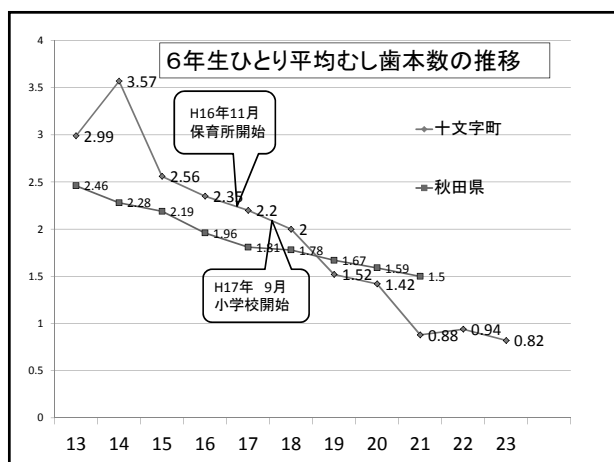
秋田県歯科医師会の対応

1. システム作り 「フッ化物洗口特別委員会」の設置
(委員は県歯役員と都市歯科医師会から選出)
2. 広報 TV、ラジオ等での啓蒙・PR活動、ポスター作成
3. 研修会 県民向け公開講座、歯科医師会会員向け研修会
関係者(市町村、施設)向け研修会(毎年開催)
4. 行政への協力 事業説明会のサポート(う蝕予防に関するフッ素洗口の効果や安全性の説明、質疑応答の対応)
5. 要望書 県教育庁へ小学校でのフッ素洗口実施の要望書の提出

◎県民向け情報提供ツール 「歯ッピー通信」の発行(年一回)

◎実施施設の導入ガイドとしてのDVDの製作





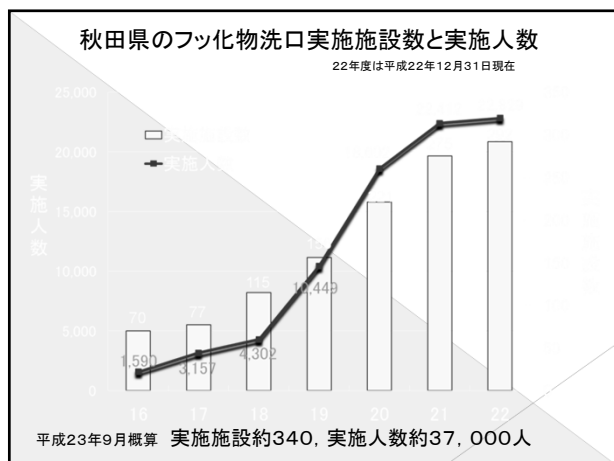
フッ化物洗口実施の有無による小学校6年生の一人平均むし歯本数の比較

洗口の開始時期	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	減少率 (H16とH21を比較)
東成瀬村 (H16より実施)	2.94	3.23	2.78	2.00	1.73	1.89	1.41	56.3%
旧増田町 (H17より実施)	1.72	2.53	1.81	2.30	2.00	0.95	1.10	56.5%
旧十文字町 (H17より実施)	2.56	2.35	2.16	2.00	1.53	1.42	0.88	62.6%
秋田市 (未実施)	1.96	1.82	1.86	1.75	1.67	1.54	1.52	16.5%
鹿角市 (未実施)	2.04	2.35	1.99	2.11	2.11	2.21	2.09	11.1%
男鹿市 (未実施)	2.22	1.46	4.24	1.59	1.56	1.32	1.32	9.6%
秋田県	2.19	1.96	1.81	1.78	1.67	1.59	1.50	23.5%

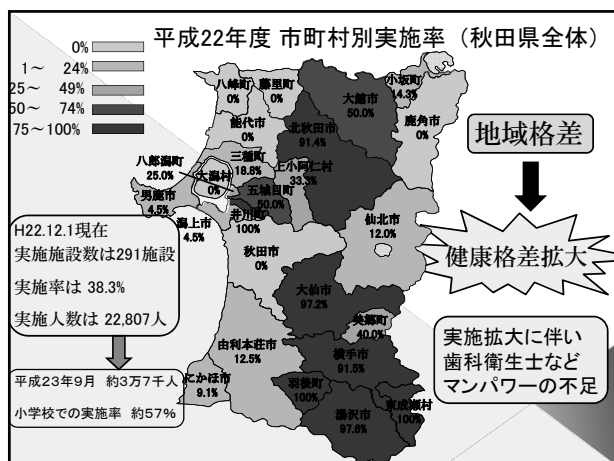
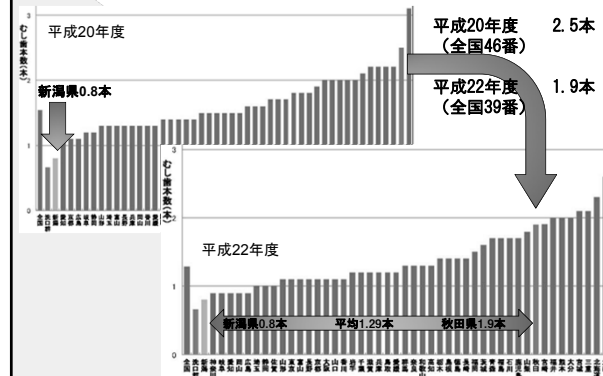
※秋田県の学校体育・健康教育資料集(秋田県教育委員会発行)より抜粋

※旧増田町のデータは横手市増田地域局のデータより抜粋

※旧十文字町のデータは松野歯科医院 松野 才 氏(学校歯科医)のデータより抜粋



12歳時の一人平均むし歯本数(都道府県別)



フッ素で守ろう 秋田っ子の歯!

おロクブク大作戦の立案など秋田県の歯科保健に多大な貢献をなされ、志し半ばで、平成17年12月25日に起きたJR羽越線脱線転覆事故で急逝された故臼井和弘先生(享年34歳)に心から敬意と哀悼の意を表します。

